

かお・人・interview

2025年10月22日

所長

インタビュー



国土交通省 九州地方整備局
佐伯河川国道事務所 所長

峰 潔毅氏

MINE Kiyotake

佐伯河川国道事務所は、関係機関と連携を図り「できることから始めよう」を合言葉に、流域治水を推進、住民の安全確保に取り組む。一方、道路整備では竹田阿蘇道路の整備を進め、大分・熊本両県の交流促進を目指している。近年は気候変動や人口減少といった新たな地域課題にも直面しており、その解決には一層の連携と創意工夫が求められている。今後の取り組みや地域との関わりについて、峰潔毅所長に話を聞いた。

Q所長就任にあたっての抱負

佐伯河川国道事務所長として着任し、日々の業務を通じて、佐伯の豊かな自然、歴史や文化に触れ、「地域の魅力、活力」を実感しています。佐伯市は自然景観に恵まれた素晴らしい地域ですが、一方で、大分県南部は台風による豪雨災害のリスクが高く、住民の皆様も日頃から大きな危機感を抱いています。いざという時の避難が難しい現状を踏まえ、災害に強い道路やインフラの整備・管理は極めて重要です。



▲佐伯市内を貫流する一級河川「番匠川」

国土交通省地方整備局の出先機関の使命は、管内のインフラ施設の整備・管理にしっかりと対応し、その過程において、地域の課題や期待に応え、さまざまな取り組みを地域の皆様と共に進めることが不可欠だと考えています。また、近年では気候変動による災害の激甚化や、人口減少に伴う地域課題への対応も迫られています。これらの課題に対し、関係機関や地域住民の皆様と連携し、地域の多様な要望にも柔軟かつ迅速に対応してまいります。

Q大分県や九州とのかかわり

建設省(現国土交通省)に入省し、このたび初めて大分県に赴任しました。これまで道路事業に関する仕事が長く、九州地方整備局道路部の道路工事課や道路管理課などに在籍時は、九州管内の道路工事や管理などに従事していました。当時は、東九州自動車道のトンネル工事などに関わっており、再度実務者として携われることに深いご縁と責任を感じています。

これまでの仕事の中で特に心に残っているのは、平成28年の熊本地震の際に、建設監督官として勤務し、被災地での対応やインフラ復旧に携わったことです。発災直後、現地の道路や河川の損壊状況を目の当たりにし、地域住民の皆さまの不安や混乱を肌で感じながら、何よりも迅速な対応が求められることを痛感しました。そうした経験を糧に災害に強い地域づくりを進めるとともに安全・安心な九州の発展に貢献できるよう、全力で取り組んで参ります。

Q事務所の紹介

当事務所は、大分県の南部に位置し、南西部は、くじゅう連山、阿蘇外輪山、祖母山麓に囲まれ盆地に広がっています。

平成29年には、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークにも登録され、豊かな水と緑あふれる自然に恵まれ、農業や観光が基幹産業となっています。また、東南部は、豊後水道に面しており海岸はリアス式海岸をなし、瀬戸内海型と南海型で比較的温暖な気候に恵まれ、農業、水産業も盛んです。

河川事業では、一級河川の番匠川水系の国管理区間(33.8km)での整備と維持管理を行っています。番匠川は九州を流れる20水系の中で特に水質の良好な川であり、豊かな自然環境の中で佐伯市内を貫流しています。

道路事業では、国道10号、国道57号、中九州横断道路の管理延長約107kmを維持管理し、地域間・都市間

の連携強化や地域の交通課題を解消するための改築事業及び通学路の安全確保や交通事故を防止する交通安全対策事業を行っています。

事務所の組織は、事務所幹部、6課、2出張所で構成され、職員数は期間業務職員まで含め約70名です。佐伯市内の本事務所のほか、河川の佐伯出張所及び道路の竹田維持出張所で現場の管理を担っています。

若手職員の育成にも力を入れており、定期的な研修や現場実習を積極的に実施しています。知識習得のためのデスクワークも大切ですが、実際に現場を見学し、現場でものづくりの様子を自分の目で確かめる機会を積極的に設けています。若いうちに自分が設計や判断したものが



▲豪雨災害状況(平成29年9月洪水)

どのような形になるか、業務を通して体験してもらいたいと考えています。

さらに、大分県内の他の事務所とも連携し、若手職員同士による現場見学会も年1回程度実施するなど、組織全体で若手の成長をサポートしています。

Q今年度の事業概要について

番匠川の河川整備計画は、平成29年の台風18号洪水を受け、令和6年2月に見直しを行ったところです。現在の主な河川事業は、大規模地震発生時の堤防沈下防止対策(蛇崎地区)及び河道掘削、樹木伐採等の流下能力向上対策(番匠川)を行っています。

また、平成29年の洪水で堤防越水による被害が発

佐伯市の海岸線はリアス式海岸のため風光明媚で魅力的な地域です。その一方で、入り組んだ地形が影響し、番匠川流域では氾濫の危険性が高く防災面での対策が課題となっています。

▲佐伯市蛇崎地区の堤防耐震対策



▼中九州横断道路「竹田阿蘇道路」の整備状況

▲竹田インターチェンジ周辺の工事状況



生した支川井崎川「稽古屋地区」の堤防整備を大分県と連携して進めているところです。河川管理施設の老朽化対策として、洪水や津波等が発生した場合に施設の機能が発揮されるよう、適切に点検や河川巡視、必要に応じて修繕や更新を行っています。

道路事業は、大分市と熊本市を結ぶ中九州横断道路の一部を構成する「国道57号竹田阿蘇道路」として、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的に平成31年度より事業に着手し、当事務所においては、大分県内の竹田インターチェンジから熊本県内の波野インターチェンジ(仮称)までの事業を実施しており、現在、調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査、工事を進めているところです。その他3箇所において、交通課題の解消のための交通安全事業を実施しているところです。また、道

路施設の老朽化対策として、重大な損傷に至る前に対策を実施する予防保全を進めるため、計画的な点検、診断、措置を行い、道路施設の長寿命化に取り組んでいます。

Q 地域との連携・協働について

河川については、地域協働による河川管理を目指し、住民・企業等や河川管理者を含め、それぞれの特性を活かし、番匠川流域とその周辺の

地域の活性化を図るために、連携して取り組むことが重要です。番匠川水系では1団体が河川協力団体の指定を受けて、活動しています。また、近年の気候変動による水害の激甚化、頻発化に備えるため、これまでの治水対策に加え、流域全体のあらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進するため、当事務所としても河川協力団体と情報共有を行いながら、「できることから始めよう」をキャッチフレーズに協働して治水対策に取り組んでいるところです。

道路については、管内には11の道の駅が登録され、地域活性化の拠点として活用する様々な取り組みが進んでおり、個々の魅力のある情報を発信し続けています。また、管内には日本風景街道の日豊海岸シーニック・バイウェイ(通称:蒲江・北浦大漁海道)ルートがあ



▲水辺で乾杯2025in番匠川(令和7年7月)



▲佐伯市内の小学校への出前講座(令和5年11月)

り、大分県佐伯市と宮崎県延岡市を結ぶ国道388号を中心に、複数の県道、広域農道にまたがる周辺地域の取り組みにより形成され、現在では、約30の地域民間団体を中心に、各方面で地域活動を実施しています。当事務所も様々な活動を通して、連携し取り組んでいきたいと思っています。



▲道の駅の清掃活動(令和7年4月)



▲道路ふれあい月間(令和6年9月)

道守大分県では、毎年開催される「道の駅」主催の道路清掃の地域活動に共に参加し、日本風景街道、道の駅と連携した「3つの輪」の取り組みを展開しています。また、ボランティア・サポート・プログラムとして、地域や企業の皆様に道路の美化活動等の実施団体になっていただき、地元自治体、道路管理者とともに快適な道づくりを進めています。

Q 地域建設業への要望・メッセージ

まずは、地域の安全・安心な暮らしを支える「地域の守り手」として非常に重要な役割を担っていただき、災害対応では、平時からの現場点検、事前準備、発災直後からの現場確認、その後の応急復旧に迅速に対応していただき、また、本復旧に際しても多大なご理解、ご協力を頂き対応していただいていることに深く感謝を申し上げます。

他方、地域建設業界においては、高齢化、深刻な担い手不足、資材高騰、機材の入手困難などの様々な課題があることは認識しているところです。現場を預かる事務所としては、引き続き、企業の皆様との意見交換等を通じてコミュニケーションを図り、建設業界の働き方改革も含めた課題の改善に対して、連携しながら積極的に取り組んでまいります。

Q 趣味や健康法について

趣味と健康を兼ねて、散歩をしています。当地域は、歴史や自然に恵まれており、時間がある時は城山や番匠川の堤防を散歩するなどしており、また、食べることも好きなので、散歩しながら、いろいろな店を巡るつもりです。

座右の銘は、「継続は力なり」で、自分自身が器用な方ではないので、地道に努力を続けることが出来れば成果となると思い、仕事に取り組んでいます。

プロフィール



R 7年4月 現職

長崎県生まれ、53歳
H 6年4月 建設省入省
H21年4月 道路部道路工事課 係長
H29年4月 鹿児島国道事務所 調査課長
R 2年4月 道路部地域道路課 課長補佐
R 5年7月 国土交通省 道路局企画課付
(復興庁統括官付参事官付参事官補佐)